

広島で歌い繋ぐ 歓びの歌

*O Freunde, nicht diese Töne!
Sonstern lässt uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere.*

TOCHIDA 第九 Symphony No. 9 ひろしま 2025



Guest

〈歌手〉森山良子

9



〈指揮〉垣内悠希

© Jean Philippe Raibaud



〈ソプラノ〉船越亞弥



〈アルト〉佐々木有紀



〈テノール〉澤原行正



〈バリトン〉折河宏治

【 〈管弦楽〉広島交響楽団
〈合唱〉第九ひろしま2025合唱団 】

2025年12月14日(日)

開演/15:00

開場/14:00

入場料

指定 S席 7,500円 / A席 6,500円

自由席 5,000円 / 団員割引 4,500円

広島サンプラザホール

広島市西区商工センター3丁目1番1号

《販売プレイガイド》■RCCオンラインチケット ■エディオン広島本店PG
■セブンチケット ■イープラス ■ローソンチケット(Lコード 63321)
■チケットぴあ(Pコード 307-744) ■CNプレイガイド



お問い合わせ先: RCC事業部 第九ひろしま事務局 082-222-1133(平日10~17時)

主催/中国放送 中國新聞社 特別協賛/

後援/広島県・広島市・福山市・三次市・広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島県合唱連盟・ドイツ連邦共和国総領事館

第九ひろしま



○ Freunde, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere
anstimmen und freudenwollere.

演奏曲目

◆第一部 森山良子×広島交響楽団

「さとうきび畑」「涙そうそう」ほか

◆第二部 ベートーヴェン 交響曲第9番ニ短調Op.125「合唱」

※演奏曲は変更になる場合があります。

Conductor 指揮者 垣内 悠希



© Jean Philippe Raibaud

2011年ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝して国際的注目を集め。これまで、フランス国立ボルドー＝アキテーヌ管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンスター交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ウイーン室内管弦楽団、チリ交響楽団などを指揮。国内では2012年に東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮して東京デビュー、ブラームスの交響曲第2番が「鋭敏な色彩感覚の反映された名演」と評された。その後も全国各地のオーケストラに客演を重ねている。2013年、ミュンスター歌劇場でオペラ・デビュー。同年、

小澤征爾氏の強い推奨を受けて小澤征爾音楽塾オーケストラを指揮して好評を博した。近年は紀尾井ホール室内管弦楽団、愛知室内オーケストラにデビュー、2023年春のロームミュージックフェスティバル「フィガロの結婚」と「セビリヤの理髪師」(ハイライト)での名演も記憶に新しい。東京生まれ。6歳よりピアノを、14歳より指揮の勉強を始める。これまでに小澤征爾、佐藤功太郎、レオポルト・ハーガー、ヨルマ・バヌラ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アツェル、イザク・カラブチエフスキイ、湯浅勇治の各氏に師事。2001年東京藝術大学楽理科を、2009年ウイーン国立音楽大学指揮科を首席で卒業。次いで2011年同音大劇場音楽科特別課程を修了。2016年より3年間札幌交響楽団指揮者を務め道内各地で共演を重ねた。今後、国内外でのさらなる活躍が期待されている。

Hiroshima Symphony Orchestra 広島交響楽団

Singer ゲスト・歌手 森山 良子



1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。その後、ミリオンセラー「禁じられた恋」をはじめ「涙そうそう」、「さとうきび畑」、「あなたが好きで」など、数々のヒット曲を生み出す。透明感のある歌声と歌唱力で、名実ともに日本のトップシンガーに。1998年、長野冬季オリンピック開会式式典にて、テーマソング「明日こそ、子供たちが…」を歌い、その模様が世界中に放映される。2002年、第44回日本レコード大賞において最優秀歌唱賞、金賞(「さとうきび畑」)、作詩賞(「涙そうそう」)を受賞し3冠を達成。2005年 愛・地球博(愛知万博)開会式にて公式ソング「マザーアース」を披露。2006年 第48回日本レコード大賞で「涙そうそう」が特別賞を受賞。2007年「2006年度芸術選奨文部科学大臣賞」「第49回毎日芸術賞」受賞。2008年「紫綬褒章」受章。近年では幼少からのレッスンで培った声楽のスキルを活かし、2013年「Ryoko Classics」、2018年「Ryoko Classics II」と2枚のクラシックアルバムをリリースし、オーケストラとのシンフォニックコンサートも好評を博している。歌手活動以外でも、ニッポン放送(全国ネット)「オールナイトニッポンMUSIC10」にて月曜日のレギュラーパーソナリティを務め10年目を迎える等、精力的に活動中。

公式Web <http://hirokyo.or.jp/>



国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウイーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和のタベ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。

1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞歴多数。

Soprano ソプラノ 船越 亜弥



広島県出身。愛知県立芸術大学音楽学部音楽科声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科(博士前期課程)音楽専攻声楽領域修了。広島市新人演奏会出演、広島交響楽団と共に演奏。第13回さくらびあ新人コンクール審査員特別賞受賞。第18回大阪国際コンクールAge-Gオペラコース2位(1位なし)、第90回日本音楽コンクール声楽部門第1位。令和4年度滋賀県次世代文化賞受賞。オペラでは、大学院オペラ『カルメン』タイトルロール、『こうもり』オルロフスキイ、ひろしまオペララネッサンス主催『イル・カンピエッロ』オルソラ、びわ湖ホール主催『ディドとエneas』ディド、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『こうもり』ロザリンド、『魔笛』パミーナ、『森は生きている』もう一人の娘、『不思議の国のアリス』公爵夫人などを演じる。愛知祝祭管弦楽団主催公演などにも出演。また、宗教曲等のソリストも多く務める。声楽を中川聰子、神田詩朗、永田直美、戸山俊樹の各氏に師事。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。

Tenor テノール 澤原 行正



東京藝術大学卒業。同大学院修士課程及び、桐朋学園大学大学院博士課程修了。博士号(音楽)取得。二期会オペラ研修所修了。二期会『セルセ』タイトルロール、『こうもり』アルフレード、セイジ・オザワ、松本フェスティバル『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『ジャンニ・スキッキ』リヌッジョ等出演、2024年NISSAY OPERA2024『連隊の娘』にトニオにて急遽出演、輝かしい美声と確かな音楽性で高い評価を得た。コンサートでは、バッハ「マニフィカト」、ヘンデル「メサイア」、モーツアルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」等のソリストを務める。近年は広島県呉市におけるオペラ上演を目標に、毎年コンサートやオペラハイライトの企画運営に携わるなど、意欲的な取り組みを行っている。広島県呉市出身。くれ観光特使。二期会会員。

Alto アルト 佐々木 有紀



広島女学院中学高等学校卒業。エリザベト音楽大学3年次に飛び級を経て、同大学院修士課程を首席で修了。広島プロミシングコンサート、新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズにて広島交響楽団と共に演奏。(公財)さわかみオペラ芸術振興財团留学助成金奨学生オーディションに合格し、ボローニャ、ロンドンで研鑽を積む。モデナにてマリオ・デル・モナコオペラ協会コンクール入賞、入賞者コンサートに出演。被爆80年を憶えてハノーファー、ウルム、シュトゥットガルトの各地でコンサートを行う。オペラでは、『イドメネオ』イダマンテ(広島初演、第16回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞)、『フィガロの結婚』マルチエリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、『カルメン』カルメン、『蝶々夫人』スズキ、『修道女アンジェリカ』公爵夫人、『ジャンニ・スキッキ』ズィータ役等で出演。今年8月に『セヴィリアの理髪師』ロジーナ役で出演。様々な宗教曲やベートーヴェン『交響曲第9番』のソリストとしても活動。声楽を番場ちひろ、藤井美雪、M.ジョッシの各氏に師事。

Baritone バリトン 折河 宏治



国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。第14回日本モーツアルト音楽コンクール第3位。藤原歌劇団公演『イル・カンピエッロ』にアストルフィとして出演、藤原歌劇団デビューを果たす。続いて、アラン・ギンガル指揮『蝶々夫人』、アルベルト・ゼッダ指揮『セヴィリアの理髪師』に出演。また日生劇場公演ではこれまでに十束尚宏指揮『ジャンニ・スキッキ』(公証人)、広上淳一指揮『利口な女狐の物語』:佐川吉男音楽賞受賞作品(ハラシュタ)、上岡敏之指揮『魔笛』(パパゲーノ)、広上淳一指揮『フィガロの結婚』(フィガロ)に出演。2011年度エリザベト音楽大学着任後は、西日本に拠点を移してオペラやコンサートなどで精力的に活動中。「第九ひろしま」にはソリストとしてたびたび出演し、指揮者の山下一史、下野竜也、西本智実各氏と共に演。第37回県民文化奨励賞受賞。エリザベト音楽大学教授。